

「造形実験」の試み

～中学校美術科授業における全く新しい学習指導～

駒ヶ根市立東中学校 美術科教諭 小山美香子

美術とは、本来、言葉をこえて伝わる
ものです。形や色などの造形をつかって、
他の人に自分の考えや思いを伝えてみま
しょう。

これは、皆さんが自分で発見していく
授業です。

小学校の「造形遊び」に繋がる授業。
行為を通して造形の言葉を獲得していく、
中学校での学習活動を、問題解決を図る
『実験』と据えた。

「造形実験」は、多様な材料や表し
方を試しながら自分としての答えを
探究する造形活動。



令和2年度 1年次
はじめての造形実験
テーマ「驚き」

基本は1人だが、ユニットでも
グループでも良い。
素材は限定せずに様々に用意する。
紙類、粘土、風船、モール、
針金、布、ビーズなど...



令和3年度 2年次
2年目の造形実験
テーマ「愛」

テーマを生徒たちと
共に設定する。

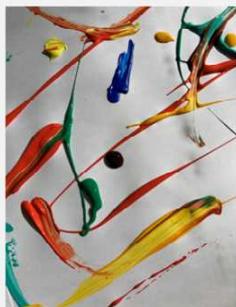


生徒たちは、テーマにそって考えを巡らせます。
自分の中にある愛や緊張感ってどんな感じだろうと。
様々な素材を触りながら手を動かして考えていくと、
自分なりに、何となく見えてくるものがあります。

色や形で実験を繰り返します。そして、実験結果を
皆の前で発表します。発表を聞いていくと、自分から
遠く感じるものもあれば、自分のイメージと、ぐっと
近く感じるものもあります。



令和4年度 3年次
3年目の造形実験
テーマ「緊張感」



続けてきたからこそ
見えてくる世界

